

2025年2月25日  
Peach Aviation 株式会社

## エアバス A321XLR、A321neo の導入を決定

- ・ A321XLR 3機、A321neo 10機を発注
- ・ 2032年以降、順次受領する予定

Peach Aviation 株式会社(以下: Peach、代表取締役 CEO: 大橋 一成、本社: 大阪府)は、エアバス社のエアバス A321XLR ならびに A321neo の導入を決め、本日 2月25日、親会社である ANA ホールディングス株式会社より A321XLR を 3機、A321neo を 10機発注したことを発表しました。

「A321XLR」は、A321neo をベースに開発された A321LR よりもさらに航続距離が長く、単通路型機としては、世界最長となる最大航続距離 8,700km\*1 を実現し、日本からアジア・オセアニアをカバーすることができます。なお、Peach では、すでに A321LR を 3機導入しています。A321LR は、国内線や近距離国際線で使用している A320ceo ならびに A320neo よりも機内のシート間隔を 5~10cm 広く設定し、快適な機内空間で大阪(関西)からバンコク(スワンナプーム)やシンガポールに就航しています。この A321LR に加えて「A321XLR」を導入することで、中距離国際線として乗り入れることができる都市がさらに増えることとなります。

また、「A321neo」は、上述の A321LR および「A321XLR」のベースとなるモデルです。現在、Peach が国内線や近距離国際線で使用している主力の A320ceo ならびに A320neo の更新機材として導入する予定で、全長は約 7メートル長くなるものの、CO2 排出量ならびに燃料消費量は約 20%の削減が見込まれるなど、環境性能と経済性能に優れたモデルです。

なお、このたび発注した機材は、2032年以降、順次受領する予定です。



Peach が導入するエアバス A321XLR(イメージ)

#### 【Peach が導入する A321XLR の概要】

発注数: 3 機  
エンジン: LEAP-1A(予定)  
装備座席数: 未定  
航続距離: 最大 8,700 km(4,700 海里)\*1

#### 【Peach が導入する A321neo の概要】

発注数: 10 機  
エンジン: LEAP-1A(予定)  
装備座席数: 未定  
航続距離: 最大 6,500 km(3,500 海里)\*1

\*1 燃料タンク等の仕様により異なります。

Peach について([www.flypeach.com](http://www.flypeach.com))

Peach は新千歳、成田、中部、関西、福岡、那覇の 6 空港を拠点とし、36 機の航空機で、国内線 25 路線、国際線 13 路線に就航しています。また、2025 年 4 月 10 日より、大阪(関西)、名古屋(中部)ーソウル(金浦)線に就航し、国際線ネットワークがさらに充実します。Peach は引き続き、安全を最優先に基本品質を追求し、より多くのお客さまに愛される航空会社を目指してまいります。